



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |           |       |           |        |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長      | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト  | 飯田 泰之  |
| ● 副会長     | 伊東 英紀 | ● 副会長     | 山本 登   |
| ● 幹事      | 天野 公史 | ● 副幹事     | 西山 潔   |
| ● 会計      | 朝日 達夫 | ● 副会計     | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男  |
| ● 副 S A A | 横溝 亘  | ● クラブ会報   | 小山 市康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 第10号週報 No. 1709 2011年(平成23年) 9月9日 第1709回例会記録 9月16日発行

**司会** 西山 潔 副幹事

**誕生日祝** 田邊 正彦 会員 (9月9日)  
飯田 泰之 会員 (9月11日)

**点鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉唱** 「我等の生業」



**ロータリーの綱領** 白鳥 厚夫 新世代奉仕委員長 (第1例会のみ)

**四つのテスト** 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

### ゲスト紹介

上澤摩壽雄 様 (第2590地区 ガバナー)  
田中 淳一 様 (第2590地区 第4 G ガバナー補佐)  
今井新一郎 様 (横浜鶴見北 R C)

### ビジター紹介

神奈川 R C 金野 克佐 様  
横浜北 R C 森田 俣弘 様

### 本日〈9月16日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「それこそロータリー」
  - ◆ 献立 シーフードのアメリカンソース
  - ◆ 卓話 「中国ビジネス (20年間)」
- (株)エフケイ・ジャパン 代表取締役 伊藤 孝雄 様  
(紹介者 石川 正三 会員)

## 結婚記念日祝

茂木 知子 会員 (9月15日)  
脇田いすゞ 会員 (10月6日)



## 会長報告

加藤 仁昭 会長

・米山奨学会より感謝状が届いておりますので贈呈致します。



渋谷高弘会員(7回)、赤堀和人会員(米山功労者)

## 幹事報告

天野 公史 幹事

・本日、例会終了後に9月度定例理事会がございます。

場所 3F ナイト

・次週、例会終了後に新世代奉仕によるクラブフォーラムがございます。ご出席のほどよろしくお願い致します。

## 出席報告

金森 欣一 出席委員長

会員総数	56名	(41+15)名	
出席会員数	46名	(36+10)名	
出席率	90.20%		
ゲスト	3名	ビジター	2名
前回補正後	92.31%	前々回補正後	94.00%

## スマイルボックス

横溝 亘 副SAA

第2590地区 ガバナー 上澤摩壽雄様

ガバナー公式訪問に伺いました。貴クラブの益々の発展を祈念致します。

第2590地区 第4G ガバナー補佐 田中淳一様

ガバナーと一緒に参りました。よろしくお願致します。

横浜鶴見北RC 今井新一郎様

いつもお世話になります。ガバナー公式訪問に同行して参りました。よろしくお願致します。

神奈川RC 金野克佐様 お世話になります。

横浜北RC 森田徹弘 本日はお世話になります。

田邊正彦君 本日、誕生日。75歳になりました。

飯田泰之君 ①先日は、前会長・前幹事会を開催頂き、ありがとうございました。②誕生日祝い、ありがとうございました。いくつになっても若さと色気は失いたくないものです。

脇田いすゞさん ①結婚祝い、ありがとうございます。②また外は暑いですね。夏が逆戻りですかね！

茂木知子さん 結婚祝い、ありがとうございます。私たちの若い頃、婚活、出会いなどという言葉はなかったように思えます。年配の女性の出会い、婚活のお勧めスポットはロータリーでなくクイーンエリザベスです。年相応のリッチなジェントルマンをゲット出来るかも。But 男性一人の船旅は海に飛び込む確率が高いそうです。

加藤仁昭君 上澤ガバナー、田中ガバナー補佐、本日はご多用の中ありがとうございます。

岩澤利雄君 上澤ガバナー、公式訪問ご苦労様です。

月山 勇君 ①先週の前会長・幹事慰労会参加の皆様、お疲れ様でした。河野さん、山田(正)さん、段取り流石でした。②脇田さん、先日はありがとうございます。

山本 登君 上澤ガバナー、よろしくご指導下さい。

河野明光君 ①上澤ガバナー、当クラブへようこそ！②先週の直前会長・幹事慰労会に大勢の会員がご集合下さり、ありがとうございます。須永さん、ご協力に感謝申し上げます。

横山範夫君 ①地区ガバナー 上澤様、ガバナー補佐 田中様、公式訪問ご苦労様です。②先週の直前会長・幹事慰労会、河野パスト会長、山田正憲パスト幹事、お世話になりありがとうございます。そして、参加の皆様もありがとうございました。

天野公史様 上澤ガバナー、田中ガバナー補佐、本日はありがとうございます。

渋谷高弘君 上澤ガバナー、田中ガバナー補佐、本日はよろしくご指導お願い致します。

伊東英紀君 上澤ガバナー、本日はようこそいらっしゃいました。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

雨宮和則君 結婚祝いのお花、ありがとうございました。

伊澤政宏君 上澤ガバナー、公式訪問ありがとうございます。ご指導のほど、よろしくお願い致します。

山田正憲君 上澤ガバナー、ようこそいらっしゃいました。よろしくご指導をお願いします。

9月9日	21件	79,500円
本年度累計		504,800円

## 「ガバナー公式訪問」

第2590地区 ガバナー 上澤摩壽雄 様



今年の1月、アメリカ・カリフォルニア・サンディエゴで開催されました国際協議会に出席して参りました。全世界200を越える国・地域のロータリアンと配偶者1300名余の皆様が、地球上のあらゆる所から出席されておられました。この協議会は、ガバナー年度に向けてロータリーの総合的な知識を学び「超我の奉仕」の理想と実践に挑んでいくのが目的でありました。今年度のガバナーとしての役職への深い思いと責任を感じながら勉強して参りました。

この2011～12年度当地区のクラブ会員の皆様と共通の夢を胸に、この夢を実現させるため、勇気と実行力、精神力、そして変化を積極的に受け入れ、より良い年度を目指したいと思っております。

地区ガバナーと致しまして、私の役割の一つは地区内クラブの意欲を喚起し、クラブとのより良い関係を目指すこと、及びロータリーの綱領を推進し会員との調和を計ることです。

ガバナーはR I 理事会の一般的な監督下に職務を行うことになっております。組織としての成功を維持し、更に発展を目指す上で国際ロータリーのクラブレベルにおける成果を維持するために、ガバナーとしまして大きな責務を果たさなければなりません。今年度を成果あふれる充実したものにするために目標を立て、ロータリーの花の精神でありますロータリー綱領を実践し、会員の皆様に鼓舞することと心得ております。地区の目標・方針を具体的に実践することです。また、R I と地区・クラブの連携を構築する上で長期計画を反映した目標を設定する必要があります。

それでは先ず、カルヤン・パネルジーR I 会長の経歴をご紹介します。カルヤン・パネルジー氏は、インド・グジャラート出身で1942年インドのカルカッタ生まれの69才です。インド国内最大の農薬メーカーであるUnited Phosphorus Limited 社の理事ならびに同社のバングラディッシュ支社長・会長を務めております。現在はインド最大の工業都市であるグジャラート州バビに居住し、保険と教育の分野におけるインフラ整備に関与し、発展に大きく貢献しています。

ロータリー歴は、  
 1980～81年度 地区ガバナー  
 1995～97年度 R I 理事  
 2001～05年度 ロータリー財団管理委員  
 2008～09年度 ロータリアン行動グループ委員会委員長  
 2011～12年度 国際ロータリー会長

です。

第1日目の本会議にてR I 会長カルヤン・パネルジー氏の2011～12年度テーマと協調事項が発表となりました。すなわち「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」【Reach Within to Embrace Humanity】です。また同時に3つの強調事項「家族」「継続」「変化」も示されました。

テーマの中で次のように述べておられます。深く自己を省みることにより、人類が皆同じ夢、希望、願望、問題を分かち合うことを理解するために、まず自分自身を見つめ直すことから始めて下さい。全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。と述べておられます。

次に、今年度の三つの強調事項ですが、第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。同時に改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。

第三の強調事項を「変化」としたのはこのためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」。

平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。

以上が三つの強調事項ですが、今年度のR I会長カルヤン・パネルジー氏は、テーマとして「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を掲げております。先ず自分自身の心の中を見つめ直そうをテーマにしております。ロータリーの精神的な部分から、自分自身の内部に潜在している物、即ち人の行動や考え方に大きな影響を及ぼしている、心の動きに対し自問自答しながら行動に移して下さい。と言うように私は感じています。

R Iのテーマはここ数年どちらかと申しますと物理的行動や外部に向けての奉仕活動が主体であったように思いますが、今年度のテーマは、ロータリーの原点に戻り、自分自身を高め、切磋琢磨し、その精神をもって奉仕活動をし、自分の心にわいてくる人間づくりをしようということです。このようなR I会長の精神と、私の今年度の方針目標が奇しくも同調していますので、その意をくみ取って頂きたい、また今年度のクラブ運営に反映させて頂きたいと思えます。

ロータリークラブは、知人の集まりではなく、友人の集まりです。友情を大切にすることは、それがロータリーの原点であり全てではないでしょうか。そして、ロータリーの目的、即ち綱領であり、四つのテストだと思えます。これがロータリーの原点であります。しかし、最近は倫理的なことより、ロータリーの主体は外部活動だとの方向が主力だとの節が見うけられます、特に1990年代以降に強くなったと言われております。他の人を思う気持ち、そこからもちろん外部活動も必要です。いずれも立派な活動であります。ロータリーの新世紀を迎え、地域社会になじむ活動も大切だと思えます。各クラブが基本に立ち返り、クラブがどのような活動をすべきか原点に返って考える、それが必要な時期にきているのではないのでしょうか。

#### 今年度の目標、方針について

##### 1. 『ロータリー綱領』の再確認をして下さい。

ロータリアンの有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、同時に行動を起こさなければなりません。そして奉仕理念を磨き上げましょう。

##### 2. クラブ主導・地区支援が基調です。

クラブ会員一人ひとりの自覚認識が第一です。私達は、地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブからなる奉仕活動をする組織です。

自ら行動を実践で一つひとつ示しましょう。

##### 3. ロータリーは五大奉仕が基本です。

クラブの活動が指針となり、ロータリアン一人ひとりの活性化を図り、充実させて下さい。ロータリアンの皆様、個人生活、事業活動、社会生活に奉仕の理想を適用し、実践して下さい。五大奉仕がロータリーの活動バランスを整えてくれるのです。

##### 4. 魅力あるクラブ作りと創意工夫（人格を磨こう）

ロータリーは例会により人間作りから始まると言われております。魅力あるクラブ・人格を高めるロータリアンを目指しましょう。さらなる立派なロータリアンを一人でも多く育成することをお願いし

ます。温かい人間関係により相互理解と親睦を深め、ぬくもりの感じられるクラブ作り。クラブの魅力とは、ロータリー情報（教育）が基礎となります。

##### 5. 新世代奉仕で未来のリーダーの夢を育みましょう。

ロータリーが新世代の育成を強力に推進し、次世代を担う若者を育てようではありませんか。未来の国からの贈りものをしっかり育てること、これが私たちの責務です。

##### 6. 地域に密着したロータリー活動をしましょう。

ロータリーは、様々な価値観と現実に対し人々を融和させ、その素晴らしい組織構造によって、地域に密着した奉仕活動を展開することです。ロータリーの存在感と実績をイメージアップし、展開することで、広報活動にもつながります。会員増強にも連動させましょう。

##### 7. 会員増強が源、クラブの力になり、組織の力になります。

各クラブ純増1名以上クラブ全会員が増強委員のつもりでお願いします。

##### 8. ロータリー財団の寄付目標

ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人的・文化的交流のプログラムを通じて、ロータリーの綱領と使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの精神を支援することに賛同し、御協力をお願い致します。

年次寄付目標は、一会員 120ドル以上

・ベネファクターを各クラブ2名以上

・ポリオのクラブ目標を達成しましょう。

##### 9. 米山記念奨学会事業へのご理解と寄付

ロータリーの米山記念奨学事業は、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学会事業で、将来日本と世界を結ぶ「かけ橋」となる人材を育成することが事業の使命です。

普通寄付一人5,000円、特別寄付一人20,000円、合計 25,000円が目標です。ぜひ御理解と御協力をお願いします。

##### 10. 東日本大震災復興支援

3月11日発生した東日本大震災は、死者・行方不明者合わせて20,000人弱、家屋の全壊数は115,000余り、原発事故の誘発、産業への損害等日本社会、経済に多大な打撃を与えました。この未曾有の大災害に対し我々ロータリアンも積極的に復興支援に参加貢献すべきと考えます。

長期計画は、強力なクラブ、効果的な奉仕、認知されるブランドという3つの基本要素の推進に焦点を当てております。2010年7月1日から有効になった新計画では、優先項目が7項目から3つの大きな重点項目になっていますが、各項目には具体的に測定可能な活動目標が挙げられており、これらの活動目標には前の長期計画の殆どの要素が含まれております。また活動項目は、必要に応じて修正が可能です。

国際ロータリーの使命は、ロータリアンが他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職種及び地域社会のリーダー間との親睦を通じ、世界理解、親善、平和を推進する。国際ロータリーの使命は、従来の使命と本質的には変わりません。中核となる価値観にならって、高い倫理的基準が「高潔性」に変わりました。国際ロータリーのビジョン、私たちは全世界社会に於ける人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り人々から選ばれる奉仕組織です。

国際ロータリーのビジョンは、「大きくてより良い大胆な夢を持つとう！」という理念から再検討されました。「ロータリーを魅力あるものにしよう！」「活力的で適切な奉仕をするクラブの活動が、地域社会や国際社会において認められるようにしよう！」という願いからです。

#### I. 地区とクラブのサポートと強化についての項目

1. クラブの刷新性と柔軟性を育てる。
2. 五大奉仕部門の全部門における調和のとれた活動を行う。
3. 多様性の増進をする。
4. 会員の勧誘と維持を改善する。
5. リーダーを育成する。
6. ロータリーを進展させる。
7. クラブと地区に於ける長期計画の立案を奨励する。

#### II. 人道的奉仕の重点化と増加

1. ポリオを撲滅する。
2. 以下の分野における奉仕の持続性を高める。
  - ・青少年と青年のプログラム
  - ・ロータリー財団の6つの重点分野
3. 他組織との協力関係を拡大する。
4. 地元や海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。

#### III. 公共イメージと認知度の向上

1. イメージとブランド認知を調和させる。
2. 行動を主体とした奉仕をPRする。
3. 中核となる価値観を推進する。
4. 職業奉仕の理想を強調する。
5. クラブに於けるネットワーク作りの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知するようクラブに奨励する。

以上は、2010～13年度までの新しく改正されました長期計画のクラブと地区が関係の深い部分を抜粋したものです。特に新しい活動の焦点は「将来へ向けてもっと大きな夢をもとう」という事であり、そのためには地区やクラブの活性化と柔軟性が、特に強調されています。新長期計画は、重点項目を3つの大きなグループに分けられていますが、それぞれの重点項目の中に、多くの実践目標が示されています。クラブの活性化を推進するために、地区と全てのレベルで活動を柔軟に進展させて、ロータリーの発展を期待したいと思います。（長期計画セミナーに出席しての資料より）

国際ロータリーの会員増強については、ロータリーと、それを取り巻く世界は変わり続けております。クラブでの会員数の減少、特に会員維持率の低下は各地区、クラブレベルと世界レベルの双方で取り組まなければなりません。私達は、優秀で積極的に参加してくれそうな新会員をクラブに入会させる、それが会員増強だと思っておりますが、その人たちにやる気を起こさせやがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間に退会してしまうでしょう。数字の方は皆さんご存じだと思いますが、大局的に見てここ10数年会員数の減少はいっこうに止まるように見えません。会員が増加している国、地域は、新クラブが結成されたことが主な要因となっております。会員の自然減についてはよく口にされますが、ロータリーへのその影響については真剣に考えられていないのが実情です。2003年6月末の時点で全世界で31,551のクラブにおよそ120万人の会員がいました。そして、2010年6月末の時点で

は34,103のクラブがありましたが、会員数は同じくおよそ120万人でした。2003年以来クラブの数が2552増えたにもかかわらず、会員の総数はわずか226人しか増えていません。これは実に驚くべき事実です。そしてもっと憂慮すべきことは、この7年間に世界のロータリークラブは110万人の新会員を迎えていたのだということです。どんどん入ってくる会員が次々に退会してしまう。どうもクラブの多くが、いわば錆びて穴だらけの古バケツ化してしまったようです。このいわゆる「自然減」の結果ロータリアンであることの価値は低下し、ロータリーの公共イメージが損なわれ、各クラブの影響力も低下しているのではないのでしょうか。

ロータリーの未来をさらに明るくするためのポイントは、どうしたら若い人達の関心を引き付けられるかにあります。全世界のロータリーの現在の統計では、全世界の会員のうち30才以下が2%、40才以下が11%、50才以下が68%となっております。最も大切なのは精神年齢です。決して50才以上の方を年寄り扱いするつもりはありません。会員増強に対する新しい考え方と、クラブ運営の新しいアプローチが不可欠だと思います。具体的に各クラブ、会員がどのようにアプローチしているのか見えない部分もありますが、例えば、例会の時間や会場、プログラムの構成、クラブ会員の参加の仕方や委員会の形式といった、クラブの裁量で変えられる部分などです。また、新世代のロータリアンを本当の意味で理解することも必要不可欠な事項と考えます。

最近いろいろ問題とされるなかで、国際ロータリーの会員やクラブへの強制的な部分が問題視されております。

ロータリーは、基本的には個人が主体であります。また奉仕活動も個人が主体であります。従いまして、国際ロータリーは決して基本原則を無視してはおりません。例えば、国際ロータリーの『手続要覧』では、かなりの規定の中で「要請」いたします、「推奨」されている、「望ましい」というように、かなり柔らかな表現がされています。また、ロータリー章典に記載されている一般的な規定、用語、語句、表現は全て方針の施行を可能にするような方法で解釈されるものとし、法律や組織規定における特定の、あるいは適切な意味を持つ専門的な用語や語句に関しては、それぞれの専門的な意味に基づいて解釈するものとするがあります。本章典において「shall」「is」「are」という単語は「義務」であることを意味し、「may」「should」という単語は「任意」を意味するものであるという注があるように解釈してはいかげんでしょうか。また、このロータリー章典は「手続要覧」(P183)の更なる解説のようなもので、参考にして頂ければ幸いです。

ロータリーも107年が経過しました。草創期のロータリーと現在のロータリーを比較しますと、一口には言えないさまざまな変化と発展と苦難の107年といえるのではないのでしょうか。

私たちは、ロータリーの現在および未来を考える時、ロータリーの組織RI（国際ロータリー）は、世界中のクラブの連合体であることを承知しながら、クラブの自主性とは何かを考えさせられます。一口にクラブといいましても、日本でも大変古く歴史のあるクラブもあり、また出来たばかりの新しいクラブもあります。各々のクラブが独自性を持って、一つのルールの中でクラブ運営をしていかなければならないのが現状です。また、各々のクラブの評価となりますとどうでしょうか。クラブというのは、クラブの会員一人ひとりの有形無形の尊い先人の積み上げた財産であります。一般的に

は財産といえば、比較的金銭等に評価しがちですが、これは数値で出せますので分かりやすいのも事実であります。しかし、ロータリーの場合は、一寸違うように思います。一般的な法人では、有形なもので会計処理上の財産もありますが、ロータリーはそれよりもっと大きな、各クラブに長年積み上げられた財産があります。クラブの伝統、風格、会員同士の素晴らしい友情、クラブ独特なクラブライフという、計りきれない積み上げた歴史と財産があります。クラブ全体の共有財産は会員全体で守り育てていかなければなりません。これは先輩が大切にしてきたロータリーの心であり、愛情でもあります。創立10年であればそれなりに、また、50年、60年になればそれはそれなりに、クラブの伝統は長い短いでは決められないものがあります。しかし、会員数の多いクラブ、また少ないクラブがあるのも現実です。また以前には、今の2倍、3倍の会員がいたクラブもあります。原因はいろいろあると思いますが、クラブ年数の長短、会員数の大小ではなく、会員の資質が評価されるものもあります。あの人がいるからロータリーに入りたい、あの人はロータリアンですかと言われるようなロータリアンになるよう努めたいものです。

一方、ロータリーのクラブ活動や奉仕活動を行うに当たり、各クラブが絶対的な自主権をもっていることは言うまでもありません。国際ロータリーは如何なるクラブに対しても、特定の奉仕活動を命令したり、禁止したりすることは、原則として出来ません。R I、地区、クラブという組織はありますが、決して上下関係でもありません。各クラブの活動を定めるのは、あくまでもクラブの自主判断となります。このことは、ロータリー107年の歴史の中でも大変重要な部分の一つであります。決議23-34（手続要覧P114～115）に明記されております。単に社会奉仕活動に関する論点だけではなく、ロータリーの基本的なあり方に関する考え方が多いようであります。

また、「寛容」の精神についてですが、各ロータリアンは、ロータリーの価値観や欲びは、人それぞれであります。五大奉仕の活動に汗を流すことに欲びを感じる人、クラブの親睦活動のなかで自己啓発に価値観を見出す人等様々です。

ポール・ハリスも、「人の考え方はその人それぞれであり、人によって考え方の違いは当たり前だ。従って、独断的なロータリーの主張は無益だ。」という考えを随所に残しております。このように、人々の価値観の相違はあるが、ロータリーにとっては一つにまとまること、それは寛容の精神、相手の善意を認める心が大切だということです。寛容の精神こそ、ロータリーが目指す友愛と親睦の堅い基盤をなす物と考えます。ロータリーに入会した時、先輩に自己研鑽と切磋琢磨、そして哲学倫理があると教えられました。

我々ロータリアンは、将来のロータリーはどうあるべきかと考えたとき私は、内部的問題と外部的な問題を真剣に考えていこうと思っております。ロータリー活動をするとき、奉仕活動として外部へ向けてする活動が一つです。そして、さらに内部的問題としてロータリアン自身、自分の心の中を見つめ、人間としての道徳とか倫理という人間形成を計り、常に自分を高めるという高度な人格作りをすることです。パネルジーR I会長がテーマとして、自分の心の中を見つめよう、そして行動しようとしております。皆様どうかこのテーマを真剣に考えて頂き、これからの活動に反映させて頂きたいと思っております。

ロータリーも二番目の世紀に入りました。私たちは自分たちの

持っているエネルギー、そしてまた信念、これを活性化させる必要があります。どんな困難に直面しようとも、それに打ち勝つように歩いていきましょう。今日もここで全員がロータリーバッチを付けておりますが、是非これを身につけることを誇りにしましょう。そしてこのバッチを見るたびに、何か人間にとって、人類にとって良いことをするという責任があるのだというふうに思いましょう。この歯車数24個です。24時間つけたまま活動しましょう。

今年度、クラブ・会員の皆様の尚一層のご協力をお願い申し上げます。

## クラブニュース

ワンワールド・ワンピープル協会 鈴木一男様からメールと写真が届きましたので紹介します。

### （再建した神奈川東RC井戸No. 44）ーポロンナルワ県

所在町名：メディリギリヤ 所在村名：ビソバンダラガマ  
村の人口：250 井戸利用所帯：15 所帯人員：51

長引いた降雨で完成が延び延びになり、結局完成式間際に、大雨で冠水流された井戸が再建されました。35周年式典の際、皆さんに購入して頂いた紅茶の売上資金を再度の建設に使用したものです。

当初用意していた井戸のボードをそのまま使用した為、年月が2010年12月と古く、35周年記念事業となっておりますが、ご了承下さい。昨年10月の反町公園のイベントに参加した京都学生の2校の名称も記されております。



農業及び同関連事業に働く者が殆ど。15所帯の平均的月収は約5,000円程度。ポロンナルワ県でも最貧の地域の一つだそうです。

◎次週《9月23日》は休会

次回《9月30日》の予定  
夜間例会